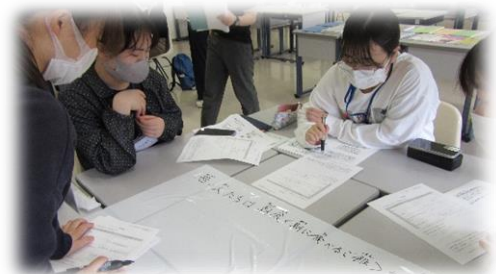


## Living in Japan Kagawa 研究会の紹介

この研究会の活動は、日本での生活を考えて香川県に来日した若者（外国人留学生）のヘルスリテラシーを高めるための支援を実践することを目的としています。今年は地域健康サポータ実習の一環として看護学科2年生22名と共に活動をはじめました。来年（令和4年）1月には、香川県内の日本語学科に留学している学生への健康アセスメントと保健指導を行うことを目指しています。

今回は、事前学習として6月4日に（公財）香川県国際交流協会から講師を迎えて行った「やさしい日本語研修会」の様子をご紹介します。研修会では、学生4～5人のグループに分かれ、やさしい日本語について、書き換えの練習、話し言葉のポイント等に関するグループワークやロールプレイを通して学びました。研修会後は、やさしい日本語への関心が高まり、日常で取り入れていくことや早く留学生に実践したい等の意見がありました。やさしい日本語の基礎が修得できましたので、これからグループでテーマを設定し、健康アセスメントと保健指導に向けた準備をすすめていきたいと思えます。

なお、本研究会は本学の令和3年度地域連携推進センター採択事業として行われています。



Living in Japan Kagawa 研究会：木戸久美子、植村裕子